

自然と共生する
豊かな暮らし
「わざ技とえにし縁のまち 飯山」

飯山市第5次総合計画

後期基本計画

2018年度～2022年度
(平成30年度)

1-2 基本構想

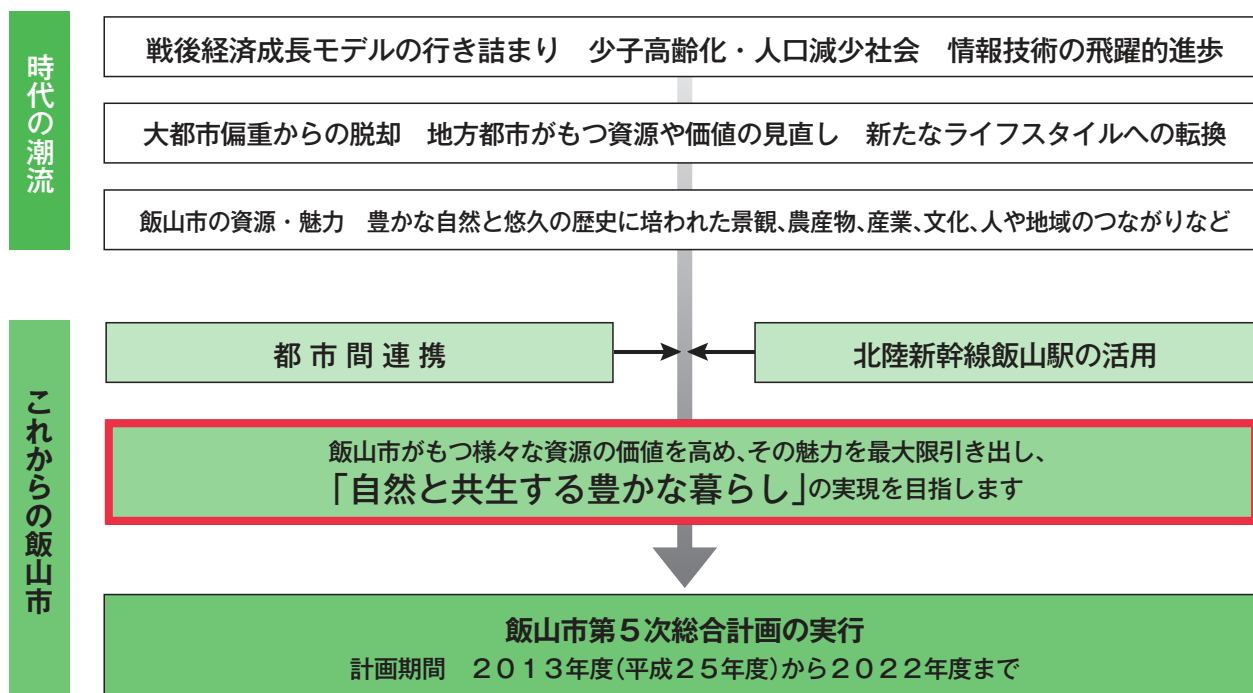
基本理念

飯山市は、四季の変化に富んだ自然、先人から脈々と受け継がれてきた豊かな農地や山々、長年の歴史に彩られた特色ある伝統文化や産業を背景として、日本海と信州を結ぶ交通の要衝として古くから発展してきた都市です。

日本有数の豪雪地である雪国・飯山市の暮らしは、お互いに支え合う温かみのある地域をつくり、その暮らしの中で培われた英知と技術は、飯山市を全国に誇れる各種農産物の一大産地に成長させ、また、雪国ならではの生活や文化を色濃く反映した産業を生み出し、発展させてきました。

このように今日の飯山市の成長の原点は、厳しくも豊かな「自然」であり、その環境で培った「産業技術」、そしてそこに暮らす人々の「支え合いや助け合い」のある暮らしだと言えます。またこれらこそが、飯山市にとって無二の資源であり、今後の飯山市の更なる発展に欠くことができない重要な要素です。

北陸新幹線飯山駅開業を契機として、北信州や信越地域の広域連携の拠点となる飯山市が、子どもや高齢者はもちろんのこと現役世代にとっても住みやすく、安心やゆとりが実感できる生活を送ることができる「自然と共生した新たな価値創造の都市」として更に発展することを目指し、市民一人ひとりが主役となってまちづくりを進めましょう。



1-3 将来都市像

自然と共生する豊かな暮らし 「^{わざ}技と^{えにし}縁のまち 飯山」

自然との共生

飯山市の四季の美しさ・豊かな自然は、大都市では決して手に入れることのできない貴重な財産です。厳しくもかけがえのない自然環境を守りながら、飯山市の気候、地形、特性等を踏まえ、人と自然とが調和した快適で持続可能な豊かな暮らしを創出します。

技を磨く

飯山市には素晴らしい地域資源や素材が豊富にあります。しかし、人の「技」がなければそこから価値を生み出すことはできません。地域の暮らしを支えてきた産業の技を更に磨くとともに、新しい活用技術にチャレンジし、新たな価値創造を目指すとともに「飯山のブランド」を全国に発信します。

^{えにし}縁はぐくむ

人と人、人とモノ、地域と地域など、あらゆるつながりやネットワーク、関わり合いによって生み出される社会を取り巻く様々な動きを「縁(えにし)」と捉え、新幹線によって新たに結ばれる縁とともに、これまで先人が培ってきた地域で互いに支え合う縁をまちづくりの柱として更にはぐくみます。

地域や都市との連携、交流を進め、それぞれに特徴をもつ地域が相互に補完し合うことによって、「訪れたいまち、住み続けたいまち 飯山市」をつくります。